



JA葬祭通信

地域とともに、ゆたかな暮らしのお手伝い

2025.9月発行 第28号

■発行／福島県JA葬祭事業連絡協議会
■編集／(株)JAライフクリエイト福島 生活事業部 催事課
〒963-0725 郡山市田村町金屋字下夕川原76番1
TEL024(942)5078
■ホームページ <http://www.jalcf.jp/services/kurashi/>
■お客様相談窓口
(ご意見・ご質問) ☎024(942)5078

Contents

- 福島県JA葬祭事業連絡協議会TVCM放映開始
- 令和7年度 JA葬祭事業の取り組み

豆知識「樹木葬」

福島県JA葬祭事業連絡協議会TVCM放映開始

毎週日曜日 14:55～ 福島テレビ「福テレでんき」にて放映中の斎場紹介

(株)JAふくしま未来サービス みらい斎場華蓮



(株)JAサービス夢みなみ あいりすホール須賀川



JA夢みなみ まごころ斎苑

(株)やすらぎの杜 JA斎苑やすらぎの杜棚倉斎場



(株)JA会津よつば総合サービス JAまごころ斎苑豊川

令和7年度 JA葬祭事業の取り組み

◆JA葬祭としてのサービス向上への取り組み◆



第1回JA葬祭女性部の開催

令和7年4月15日（火）、（株）JA福島さくら協同サービス JA八山田斎場にて「第1回JA葬祭女性部」を開催いたしました。今回の研修では、ご安置処置からメイクに至るまでの一連の実務を学びました。技術習得はもちろんのこと、故人やご遺族の立場に立ち、心を込めて対応する姿勢の重要性について、改めて理解を深める機会となりました。

女性スタッフ一人ひとりが「寄り添う心」を大切にしながら、地域に信頼される葬祭サービスの実現を目指して、今後も活動を続けてまいります。



第1回JA葬祭青年部の開催

令和7年5月8日（木）（株）JA福島さくら協同サービス JAやすらぎ会館 ラポール平窪にて、「令和7年度第1回JA葬祭青年部」が開催されました。当日は15名のスタッフが参加し、新体制での活動がスタート。

今回の研修テーマは「大規模災害への備えと対応」。

午前中は講義を通じて、災害時の行動や体制づくりについて学び、午後からは「JA葬祭としてどう備えるか」をテーマにグループディスカッションを実施。参加者からは現場での課題や連携の重要性など、実践的な意見が多く挙がりました。



JA葬祭初級者講習会の開催

令和7年4月21日（月）、JA福島教育センターにて「JA葬祭初級者講習会」が開催されました。午前はJA福島中央会の渡邊祐一氏による「協同組合とJA」の講義があり、JAの基本理念や地域での役割を学びました。午後は安洞院の横山俊顕氏による仏教的視点での葬祭業務や接遇、永代供養やエンディングノートの活用など、実務的な内容が講義されました。参加者は基礎知識と心構えを深めました。





令和7年度JA葬祭AI研修会

令和7年5月20日（水）、(株)JA福島さくら協同サービス JA八山田斎場にて「令和7年度生成AI研修会」を開催いたしました。

今年度は新たな取り組みとして、近年注目を集めている生成AI（人工知能）をテーマに研修を実施しました。AIとは何か、そして生成AIがどのようなことを可能にするのかといった基礎知識から、業務効率化やマーケティングへの応用、さらにはリスク管理まで、幅広い内容を学びました。

特に「ChatGPT」などのツールを使った業務支援の具体例には、参加者の多くが強い関心を寄せており、「すぐに現場で試してみたい」「自分の業務にも取り入れられそうだ」といった前向きな声が多く聞かれました。

参加者からは、「難しそうだと思っていたAIも、説明が分かりやすく、親しみやすく感じた」「これからの時代に必要な知識を学べる貴重な機会だった」などの感想が寄せられ、大変有意義な研修会となりました。



JA葬祭管理者研修の開催

令和7年5月26日（月）、(株)JAライフクリエイト福島 大会議室にて「令和7年度JA葬祭管理者研修会」が開催されました。

午前中は「悩みや不安、喜びややりがいの共有」をテーマにグループワークを実施。参加者は「スタッフ育成の難しさ」「価格競争」「人手不足」などの課題を共有しながら、「ご遺族に感謝された瞬間のやりがい」など前向きな意見も交わしました。

午後は、出てきた課題に対し「原因」と「対策」を考えるグループワークを行い、現場で実行可能な改善策を模索しました。

本研修を通じて、悩みをチームで共有し、組織として前向きに改善していく姿勢の重要性が再認識されました。



豆知識 樹木葬

福島県で広がる
「樹木葬」自然とともに眠る
新しいお墓のかたち。

近年、ライフスタイルや価値観の多様化により、伝統的な墓石による供養から「樹木葬」へと関心が高まっています。福島県内でも、自然志向や後継者不在といったニーズに応え、さまざまな寺院や霊園で樹木葬が導入されはじめています。

【樹木葬とは?】

樹木葬とは、墓石の代わりに樹木を墓標とする新しい形のお墓です。自然に還るという考え方に基づき、遺骨は土に埋葬され、木や花に囲まれた環境で永眠します。

《特徴》 · 環境にやさしい自然葬 · 管理費がかからないケースも · 宗派を問わず利用可能 · 個人型 · 共同型など形式が選べる。

【福島県での動き】

県内では郡山市、福島市、会津若松市などで樹木葬の施設が増えています。山間部の自然と調和した霊園や、街中でもアクセスしやすい寺院型の樹木葬など、多様な選択肢があります。

《主な特徴》

・費用の明確化、プランの多様性 · シンボルツリー（桜・イチョウなど）による美しい景観 · 永代供養が含まれるプランもあります。

【利用者の声】

「母が自然好きだったので、山の中で花に囲まれた場所を選びました」 「子どもに墓守の負担をかけたくなかったので、永代供養付きの樹木葬を選びました」

【まとめ】

福島の豊かな自然の中で、心やすらぐ永眠の地を選ぶ——。樹木葬は、今後さらに広がりを見せる供養のかたちです。



詳しくは
お近くのJAに
ご相談ください。

県内JA葬祭窓口に関しては
(株)JAライフクリエイト福島
HPをご覧ください。

<http://jalcf.jp/services/kurashi/>

JAライフクリエイト福島 検索


JA葬祭